

昭和 43 年 11 月 1 日

発行所

山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(代)
郵便番号 289-17

横芝

広報

横芝町の人口と世帯

<9月30日 現在>

常住人口 11,839人
男 5,575人
女 6,264人
世帯数 2,790戸

// 火事の恐ろしさを 知っていますか //

26日から全国火災予防週間

あなたは火事の恐ろしさを知らない
!! 全国統一標語 !!

いよいよ本格的な冬に入り、空気がたいへん乾燥すると同時に、火気をつかう機会が多くなって、火災発生が増える季節です。今年も十一月二十六日から一週間全

- 石油やガスボンベの置き場所の選定
- コンロやストーブの故障、ガス導管の破損の有無点検
- 寝る前に元栓を閉めるなど安全確認
- 吸いごらの投げ捨て禁止
- 寝たばこの防止
- このほか、戸外でのたき火も多くなります。残り火は徹底的に消して置きましょう。
- また子供の火遊びは絶対にさせないように注意しましょう。

て行きました。中食は簡素な折詰めではありましたが、婦人会員の行届いた温かい心づかいによる接待で、花見遊山とはまた異なった気分です。舌つみを打ち、或は普段あまり逢えないはなれた地区のお知りあいと、久方ぶりの話に花が咲いて、これまた別の楽しみでもあったようでした。

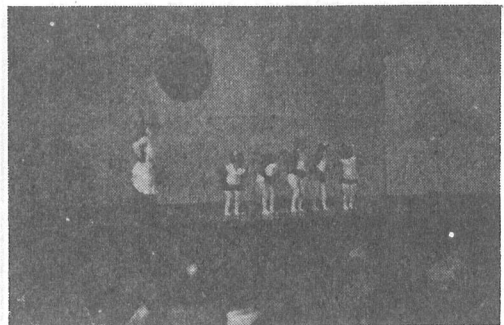
木戸台 佐久間元夫 カツ
中台 伊藤 佐重 知
牛熊 伊藤 融次 とよ
長倉 土屋 煮一 かつ
伊藤 吉川 泰蔵 里宇
伊藤 文雄 もと
曾根合 富 守 あさ
上町三 加瀬 勲 きち
鳥喰上 伊藤源之助 ミチ
鳥喰下 行木 高吉 コウ
鳥喰新田 宇井 儀慶 はる
鳥喰下 押尾 庄 トミ
南 市原 誠一 とみ
西 浅野 浩 たか
南川岸 鈴木栄之助 ふぞ
伊藤 仙蔵 ステ
また、町社福協からの祝品の座布団が贈られた高令者は、八十九才の姥山の土屋みちさん、牛熊の杉本そのさん、老人ホームの吉原しげさんの三人を初め、米寿の三人、八十七才十七人、八十六才十五人八十五才五人の計四十三人でした。

お年寄も余興にとび入 盛会だった敬老会

七十才以上の高令者七十二人を招待しての恒例の敬老会は十月十二日横芝中学校体育館で開催されました。この朝、差し廻しのバスに迎えられて、三地区のお年より達は一年一度のこの日を、ハズむ気持で続々と会場に到着、定刻までには四百人に余る数で、さしにも広い体育館も満員の盛況でした。



大漁節をおどるおばあさん



童謡をおどる保育所児童

協議会長の挨拶で開会、八十番の慰安演芸にうつり、各保育所のかわいい幼児の踊り小中学生徒の唄、踊り、青年団、婦人会員の民謡、舞踊などを織りまぜてつぎ次に披露されました。

選挙人名簿の登録

申出は十二月一日までに

選挙人名簿の追加登録は、三、六月、九月、十二月のそれぞれ一日現在において、毎年四回行われます。

新しくこの町の「選挙人名簿」に登録される資格を得たときは「選挙人名簿登録申出書」を提出しなければならぬ制度になっています。

他の市町村からこの町に住所を移して来られた方は、住民基本台帳法の定めにより転入届をすまされると、同時に

登録されず、選挙が行なわれたときに大切な投票ができないうこととなります。

登録の資格を得られた方はお忘れなく、明日と言わず必ず申出をされるようお奨めいたします。

選挙人名簿登録資格は次のとおりです。

- 一、日本国民であること
- 一、この町に住んでいて満二十才に達した方は、必ず申出書を出していただくかねばなりません。せつかく資格を得られても申出をされないと、名簿に

消防殉職者として 故戸張正さん合祀

千葉県消防協会主催第四回消防殉職者合同慰霊祭が去る九月二十日千葉市亥ノ鼻公園慰霊碑前で行われましたが、今回東町の故戸張正さんの霊が合祀されました。

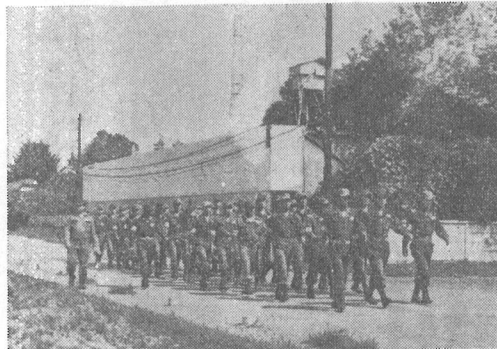
戸張さんは昭和三十一年六月、東町の光学レンズ工場出火の際、一般協力者として消火作業中殉職されたのです。

横芝町では、さきに於幾の伊藤勇さんが合祀されましたが、今度で二名になります。現在県下で合祀された殉職者は七十三柱だそうです。

貴い体験と精神訓練

消防団員の自衛隊入隊

消防団では二回目自衛隊体験入隊を行いました。去る十月二日団長以下四十三日に亘って小隊長、助教の六隊員から直接訓練と指導を受けました。



自衛隊服装に身を固めて行進訓練
足なみそろえて オイチニ オイチニ

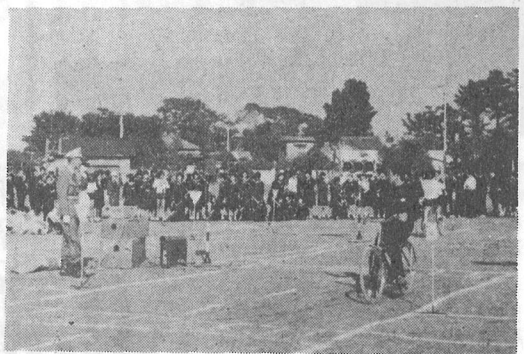
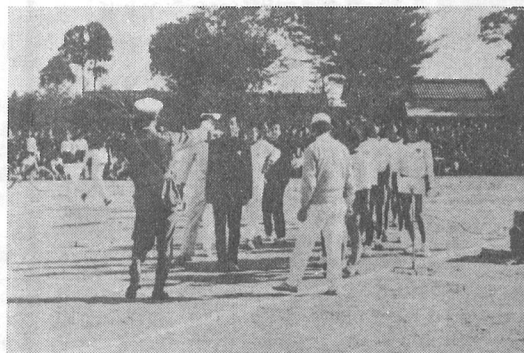
訓練は基礎的動作でしたが、殆んどが軍隊の経験のない者でしたので、簡単な号令、動作にもマゴついたりしました。それでも三日間の訓練で停止、行進、隊伍訓練、総合訓練について

交通教室を開講

模擬事故の実演も

秋の交通安全旬間

十月十一日から二十日まで、重、生徒の安全通行を重点と全国一斉に行われた交通安全した交通指導、あるいはカーブ間に、町では安全協会役員、交通指導員、校外指導員、横断ライン、センターラインの塗装等が設備の整備



など盛りたくさんの行事を行いました。

また期間中に、横芝中学校で県警本部から交通指導員を迎えて交通教室を開講しました。

校庭に白線で道路を造り、歩行者の正しい歩き方、自転車の正しい乗り方、信号灯の見方と横断のしかた等実地指導を受け、また、ゴーカート、小型自動車を猛スピードで走らせ、模型人間を使って事故の実際を

実演して見せられたが、惨たんたる状況に今更事故の恐ろしさを痛感してしまいました。会場に集まった生徒は指導官の一言一動を食い入るよう見つめるように見つめ、真剣な表情で指導を受けていました(写真は交通教室スナップ)

見ちがえるように上達し、大きな精神的訓練にもなっており、全員無事に四日夕刻帰りました。

団員はこもごも次のように話していました。

訓練は大して苦痛には思わなかったが、規律正しい生活はにが手だ。不慣れた行動を

されると見え、朝六時の起床号令で飛び起き、五分間で身仕度と整頓をして点呼を受けるのに大あわてをました。

食事は麦飯で、普段なら芳ばしくないのだが、訓練で腹が減るせいかうまいと思つて食べた。わがままなものだと感じました。

る行動、敏捷で礼節のある態度動作など、団体行動に欠かぬ貴重な体験を得て、非常に精神訓練にもなりました。

終始懇切に教導訓練していただいた、大隊長初め各幹部及び隊員の皆様に深く感謝するとともに、この体験と成果を消防団活動に立派に役立てて行きたいと決意しました。

異動届には保険証や

年金手帳も添えて

みなさんの日常生活では、とを一本にまとめて行なうた住民としての立場や住所、世帯のことなどについて、役場の証明を必要とするものが多くあります。また役場側としても、みなさんに行きとどいたサービスを行なうためには、選挙のことや、義務教育、予防接種、お米の配給、それに国民年金、国民健康保険のことなど、みなさんに関するあらゆることを正確に記録しておくことが必要不可欠です。そこで、このような

この住民基本台帳法には転出届の制度が設けられ、みなさんが住所を変更する場合は、あらかじめ転出する旨届け出て、転出証明書を受けることになっていきます。これは今まで住んでいた市町村での状況を新しい市町村へ十分連絡し、転入に伴ういろいろな手続きを間違いない行なう

ためのもので。今までは国民年金や国民健康保険の住所変更は住民登録とは別に届けをしていましたが、これからはこの転出証明書に国民年金や国民健康保険のことも記載されますので、この転出証明書に年金手帳や保険証を添えて届ければ、一つの窓口で用が足りることになります。このため手数料や時間も省かれ大変便利になったわけですね。

そのようなわけで、これからは転出転入の場合は、異動証明書や国民年金手帳及び国民健康保険証がありませんと、住所変更の手続きができませんので、年金手帳、保険証など忘れずにご持参下さい。

ふる里の話題

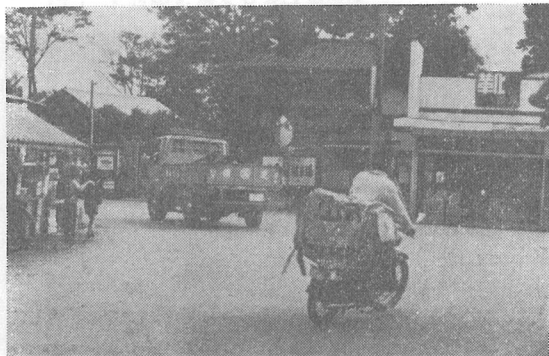
恵比寿屋の仇討 (4)

耳無し の 権十

「彦根の殿様が桜田門で殺されたそうだ」
「水戸の御家来衆がやったんだぞうだ」
「いや、薩摩のおさむらいだということだ」
そんな噂が上総の国横芝村に伝わってきた頃、世の中は騒然として落つきを失い、刹那的享楽を求める風習が強くなり、百姓町人の中では賭博

渡世に走る者が横行した。ここは銚子街道にそった恵比寿屋という旅館屋、その一室で盆ごさを間にはさみ、いま賭場が開張されている。両側に並んだ数十の目は、片肌脱いだ中盆の振る賽壺に吸いよせられ、室の片隅では首にかけて豆絞りの手拭と、禪一本が身上という格好で、耳無しの権十という馬方くずれの博徒が毛脛を抱きながら震えている。きつと賽の目に見

今年三月の節句だというのに江戸では大雪が降ったという寒さであり、自業自得とはいえないながら、禪一本の裸姿は哀れというほかはなく、半分切れ落ちた耳元の傷あとが紫色に変わって見えた。「畜生ッ！」



銚子街道沿い恵比寿屋のあったあたり。今はその面影を偲ぶよすがもない。

放されて身ぐるみ剥がされてしまったのであろう。

国民年金の受給者 708名1,430万円

九月末現在年金をもらっている人は、拠在の調べによると、横芝町では国民年金に加入している方は、任意加入者も含めて四、四三六人で保険料額は一千六十二万七千円で、

計	31	1,826
福祉年金では		
人数	金額(千円)	
老令六二〇	一〇、八四〇	
障害	四七	一、四一〇
母子	一〇	二六七
計	六七七	一二、五一七

なお拠出制年金の加入者で老令年金をもらう資格のできるのは、二年半先の昭和四十六年四月からです。

せめて二分、いや二百文もあれば……」とつぶやいていたが、いつの間にか姿は消えていた。暫らくして帳場の方から、「誰か……誰か来てくれよオ！」とけだまじしい女中の叫び声がした……

帳場には恵比寿屋の主人が両手で虚空をつかみ仰向けに倒れていた。首には豆しぼりの手拭が巻きつき、銭箱はひっくり返されてビタ銭が三、四枚散らばっているのは押込みか、強盗の仕業か。死体のそばには五才位の女の子が「耳のない人がやった」と泣きじゃくっていた。

「昨年女房に死なれた主人は周囲のすすめの後添の話も断わり、この一粒種の娘大事と育てて帳場にいる間も側から放さぬ可愛がりよう、名前はおなつと呼んでいた。

「耳のない人……」という五才の子供の言葉と、見覚えのある豆絞りの手拭から、耳無し権十の仕業と見当はついたものの、権十はつかまらずそのまま行方が判らなくなってしまった。

人の噂も七十五日、この騒動も何時か人々から忘れられ、恵比寿屋も主を失ったまま女中頭おなみが後見役となつて、娘おなつの世話をしな

(未完)

総合一位は横芝地区

十月六日の体育祭

町を挙げての体育祭の日十月六日は、前日一日の秋霖に続いてこの朝も雲は重く垂れ下り、体育祭日和はのぞめ、そうもない空模様でしたが、暁の空に響きわたる数発の花火は、迷っている気持を吹きとばしてくれました。

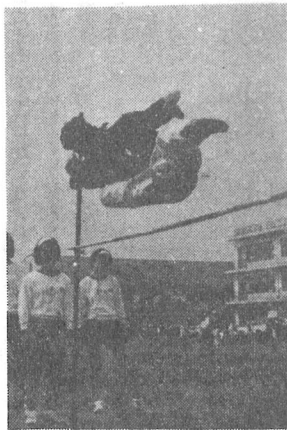
水たまりだらけの横中運動場を、遠く松尾町から土を運んで整備するもの、会場設置に走り廻るもの、前日中にてきなかつた準備支度を整えるグラウンドはさながら戦場のような情景でした。

やがて十時を過ぎる頃、空模様も定まり、選手、観客も集まって、国旗、町旗、体協旗の掲揚に開会式が始まり、

体育の祭典はくり展げられていきました。百米競走、高とび、マラソン等の純競技から、アベック競争、風船割などリクリエー

ションを交えてプログラムの進行につれ、運動会気分はいやが上にも高揚され、天もその意気に感じてか、午後からは絶好の秋日和となりました。こうして呼びものの地区対抗リレーを最後に午後四時、祭典の幕を閉じました。地区総合得点は次の通り

- 一位 横芝 七二〇・五
 - 二位 大総 五五七・五
 - 三位 上埴 五一九・〇
- なお各事業所から次のとおり特別寄附がありました。



跳んだゾ……見事にとんだ



オケサ唄えば……手ぶりあざやかに婦人会員のおどり

26日	秋の火災予防運動週間
23日	勤労感謝の日
22日	小雪
17日	録音(八日市場)公開
15日	NHKのど自慢公開
8日	お年玉つき年賀はがき売出し
7日	立冬
3日	文化の日、明治神宮大祭
1日	狩猟解禁

十一月のよみ

「検察審査会」

それはわたしです

みなさん！わたしは「検察審査会」です。わたしが生れて今年で丁度二〇年になります。わたしも成人になりました。しかし皆さんはあまり私をご存じないようですが、私がどこで何をしているかを簡単に話してみましょう。

あなたやその周囲の人で犯罪によって害を受け、その犯人を処罰してほしいと警察や検察庁に訴えたが、「罪とな

ず。もし検察庁の取扱方が不当と判断すれば検察庁に「起訴するように」申入れをします。

審査の申立はわたし(検察審査会)に申し出れば簡単に全部無料で手続きがとれます。犯人が目こぼしになったのをよいことにして大手を振って横行しないような、明るく正しい社会とするためにわたしを利用して下さい。

検察審査会のことについては地元の選挙管理委員会が審査会事務局へお問合せ下さい。審査会事務局は八日市場裁判所内にあります。電話八日市場二局一、三〇〇番です。

- 優勝カップ
- 一基 横芝町商工会
- 一基 フルヤ乳業KK
- 優勝タテ
- 一基 千葉銀行横芝支店
- 一基 千葉相互銀行横芝支店
- 一基 旭信用金庫横芝支店
- 一基 東金信用組合横芝支店

有線加入者の異動

有線放送電話加入者の異動をお知らせします

番号	氏名	部落	部
21-17	讓郎夫潤	木鳩木川	新加入
43-16	淑輝	鈴江大小	
61-6	平郎郎	川川野	
64-8	治次	越小上	
47-8	良清春	川14	脱退
61-6		古東	
64-8			

横芝俳壇

行く雁の道明らかになりしかな
赤とんぼ日射十方より来る
鈴木まさひろ

地底より海音の断裂夏を突き離す
冷え腰に油ずみ農おこしゆく
玉虫たけし

汗の匂い野良より黄昏の女帰る
萩白く咲く解体の家遠く積ま
れ
古内 青人

歩きながらの童話や秋の陽があかい
尾花をば花としらない児を連れて
斉藤ちくろ

歯いたむ夜更けこうろぎかすかなり
くり言も空に届かず稲浸たる
藤代 ゆう

蜻蛉つり大夕焼に竿をふる
新涼や葉を打つ雨の音に明け
土屋 栗水

溪谷の岩囁む流れ百合咲けり
稲運ぶ車や上に子を乗せて
若梅あやめ

みちのくの野を来る風や蟬しぐれ
山深かく来て山間の雲の峯
田島 千女

歩道橋の下で息入れ残暑かな
暑き日や海に遊びて子とすこ
高埜 孝子

九十九里砂丘を浪と白い南風
遠花火編物いそぐ縁に居て
小川 佳子